

# 法政就業力通信

## ～今月のさんぽ道～

法政大学

「就業力を育てる3ステップシステム」  
プロジェクト<http://3step.hosei.ac.jp/>

文部科学省『大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)』採択プロジェクト

## 新学期が開講して

特任教員 白井 章詞 (しらい しょうじ)

### 「教員になるにあたり」



#### 略歴

法政大学大学院経営学研究科  
キャリアデザイン学専攻(修士)  
修了後、法政大学大学院政策創  
造研究科博士後期課程に進学。  
2011年3月、同博士課程中退。

私は、博士課程の指導教授から3つのことを教わった。①遅刻のないクラスを作りなさい。②私語のないクラスを作りなさい。③笑いのあるクラスを作りなさい。①と②はあなたが一方的に押しつけても駄目です。学生自らに考えさせ「なぜそれがダメなのか」を理解させることが大切です、と。③についても、「学生はいつまでも集中して人の話を聞いていられない。時折、笑いを交えてあげること」と。そして、「馬鹿笑いはダメだ。これは集中力が途切れてしまう。クスッと小さく笑える程度が大切なんだ」と難しい忠告も頂いた。私が担当するキャリアデザイン入門(4コマ)の受講生は平均200名前後。学生1人1人の様子を見ながら話をするには難しい。どうしたものかと思案しているとき、私はこのなかに大切なメッセージが隠れていることに気づいた。それは、私が初めて教員になる(それも大規模授業を担当する)にあたり、「学生をよく見なさい」・「学生との対話を大切にしなさい」ということ。それまでの私は、教員として何を教えるのか、どんな資料を作り学生に何をさせるのか、そんなことで頭がいっぱいだった。そんな私を憂いてか、指導教授は学生と一緒に講義を作っていくことの大切さをそっと教えて下さったように思う。今、授業中のみならず、その前後においても必ず学生たちに声をかけ、会話をするように心がけている。学生たちの多くは、私たちが思っている以上に昨今の就職難や震災の影響に不安を募らせており、落ち着いて勉学に専念できないようだった。そこで、キャリアセンターと連携した講義を行うなど、幾つかの工夫も試みてみた。5月末、久々に指導教員の研究室を訪ねた私に、先生は一言「学生を笑わせていますか?」とお尋ねになった。きっとそれは、「学生と対話していますか?」ということだと思う。幸いにも、「大丈夫です。そこだけは…」とお答えすることができた。

### 「学生はもっと交流を求めている」

講義では、毎回冒頭15分を使い、特定の課題に対して学生同士が議論する時間を設けている。課題には、「大学教育においてキャリア教育を行なうことに賛成か反対か」といったものもある。受講生は、時には壇上に立ち、200人からの受講生を前に自分の意見を述べる機会もある。最初は、議論する相手さえ見つけられずにいた学生も、回を重ねるごとに積極性が増し自らチームを作って発表するほどの変化が表れてきた。また、講義では、「どう生きるのか」をキーワードに、経済や産業の知識、雇用主や労働者の役割、権利、責任についても広く取り扱う。もちろん、学生にとって「就職(活動)」は重要なテーマであり、関心も根強い。しかし、あまり「就職」の話ばかりに偏ると、かえって学生を大学での学びから遠ざけてしまうようにも思う。学生には、大学4年間を来る知識基盤社会に備えた知的訓練の場として存分に活用して欲しいと思う。そのためにも、キャリアデザイン入門では、学生が一般教養科目や専門科目を学ぶ意義が見出せるように、そしてそれらを社会でどのように生かしていくのかを意識しながら学べるように、その土壌づくりに取り組みたい。



## 企業が求める一般常識とは…

教授 藤村 博之 (ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー)

新入社員に対して企業がもってほしい能力の一つに「一般常識」があります。一般常識というのはつかみ所がなく、どうやって身につけたらいいのかわからないため、ついつい敬遠されてしまいます。でも、大学での勉強は、一般常識を身につけるのに役立っていると思います。

企業が求めている一般常識とは、顧客を訪問したときにそこで展開される話題についていけるとか、会議に出席したときに議事録をとれるといったことです。大学で講義やゼミに出ていると、さまざまな話題に対応できる知識が身につきます。講義で教員の話の聞きながら重要な点をメモすることを繰り返せば、議事録をつくるのに必要な能力(人の話の要点をメモしてまとめる)は自ずと身につきます。

大学教育と就業力は重なっていると考え一つの根拠がここにあります。

略歴 84年名古屋大学大学院卒。京都大学博士(経済学)。84~89年京都大学経済研究所助手、90~97年滋賀大学経済学部助教授・教授。97年~03年法政大学経営学部教授、04年~IM研究科教授。



## 授業を開講して

特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)

昨年度から開講した授業「企業と経済の動向」で受講者数が本年度は2倍となり、キャリア講義への学生の関心の高さがヒシヒシと伝わってきます。震災から3ヶ月近く経ち、「自分の出来る事をしっかりやろう!」という機運が世の中全体で高まっています。

大学では教員は教員として学生は学生として、それぞれの立場の原点に立ち返り、各自が「相手は何を求めているか?それをどう伝えればわかりやすいか?」と相手目線で取組む姿勢が就業力強化への基本と実感しています。

略歴 70年慶応義塾大学経済学部卒。70-06年伊藤忠商事(株)勤務、06-11年帝京大学と法政大学職員。11年-法政大学教員



## 自分の大学に誇りをもたせる

特任教員 鈴木 美伸 (すずき よしのぶ)

新学期が開講し、「キャリアデザイン入門」の2回の授業を終えました。初回は287名(1年生:241名、2年生46名)が受講し、教室に座りきれない問題はありましたが、非常に熱心な受講態度でした。初回の講義で重点的に伝えたのは、法政へ入学したことに誇りをもたせることです。法政に限らず、「こんな大学にくるはずじゃなかった」と思いながら過ごしている新入生は意外と多いものです。しかし、その大学の創立背景や教育理念を丁寧に伝えると、自大学の良さや伝統に気付き、自らの大学生としてのキャリアを前向きに進めようという気になります。授業後のリアクション・ペーパーで授業の手応えを確かめながら、私も法政の新人として誇りをもって歩みます。

略歴:日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

### ◆ 高校生向け連続キャリアガイダンスのご案内

高校生のみなさんに大学での“学び”を模擬体験してもらい連続講座を実施します。

日時: 2011年6月26日・8月7日 / 21日 / 22日(オープンキャンパス開催日) ★ 詳細・お申込み方法は「就業力GP」のHP  
定員: 60名(事前申込み制) 時間: 13:20~14:50 場所: 法政大学市ヶ谷キャンパス (<http://3step.hosei.ac.jp/>)をご覧ください。  
講師: 児美川 孝一郎教授(キャリアデザイン学部長) 白井 章詞 特任講師

第1回(6/26)「大学で学ぶってなに?」 第2回(8/7)「仕事×仕事=?」  
第3回(8/21)「わが家のおサイフ」 第4回(8/22)「その時、君はどう動く?」

### ◆ 学習ステーションで「就業力」昼休み宿題ゼミを実施

この春より在学生の学習活動をサポートする目的で開設された「学習ステーション」の取組みの一環として、学生の自習活動の向上をめざす「宿題ゼミ」が昼休みを使って行われ、就業力をテーマとした「宿題ゼミ」も以下日程で行われます。

6月7日(火) 鈴木 美伸 特任講師 「リーダーはどうやってリーダーになったか?~キャリアモデルの考察~」

★ お問合せ・お申込みは学習ステーション(03-3264-9072)まで

### ◆ 編集後記: 市ヶ谷キャンパスでは授業開始が5月になったことから、4月に新入生向けの各種企画が実施されました。

われら「3ステップ」も4/23に4回公演を敢行、満員には至りませんでした。雨の中参加してくれた学生に、先生方も熱が入った様子。そのお話しぶりから授業での片鱗が伺え、「ユニークな授業になりそうだな」との感触を持ちました。 << 事務局: 細田 >>

### 「就業力を育てる3ステップシステム」プロジェクト(事務局:学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL:03-3264-9520 WEB:<http://3step.hosei.ac.jp/>

**就業力**を育てる**3ステップシステム**  
文部科学省「大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)」採択プロジェクト